

繰越 2億8,728万円  
※令和3年度へ繰越

貯金 4億8,207万7千円  
※財政調整基金へ積立

歳出 189億4,309万3千円

歳入 197億1,245万円

歳入歳出差引額  
7億6,935万7千円

子どもや高齢者、障がい者等の福祉に使ったお金

学校教育や生涯学習等に使ったお金

道路や公園、まちづくり等に使ったお金

行政の運営、広報紙の発行、税の賦課・徴収等に使ったお金

町民の健康管理やごみ収集等に使ったお金

消防・防災設備や消防団の運営等に使ったお金

町の借金の返済に使ったお金

観光や商工業の振興等に使ったお金

農業・畜産振興等に使ったお金

町議会の運営や議会だよりの発行等に使ったお金

勤労者福祉や雇用対策等に使ったお金

民生費	98億2,513万5千円(51.9%)
教育費	25億6,145万4千円(13.5%)
土木費	19億6,747円(10.4%)
総務費	13億1,933万円(7.0%)
衛生費	12億9,812万1千円(6.9%)
消防費	6億2,844万8千円(3.3%)
公債費	6億 254万2千円(3.2%)
商工費	4億4,093万7千円(2.3%)
農林水産業費	1億5,184万1千円(0.8%)
議会費	1億2,384万7千円(0.6%)
労働費	2,396万8千円(0.1%)

## 一般会計

自主財源 (50.4%)	町税	81億5,781万7千円(41.4%) ・町民税 31億1,531万4千円 ・固定資産税 40億2,649万8千円 ・軽自動車税 1億2,710万2千円 ・町たばこ税 3億 702万4千円 ・都市計画税 5億8,187万9千円
	その他諸収入	16億 147万7千円(8.1%) ・財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入
	使用料及び手数料	1億 1,398万円(0.6%)
	分担金及び負担金	5,921万9千円(0.3%)
依存財源 (49.6%)	国庫支出金	63億6,318万6千円(32.3%)
	町債(借入金)	10億7,032万3千円(5.4%)
	県支出金	9億1,954万円(4.7%)
	地方消費税交付金	8億8,907万6千円(4.5%)
	その他交付金	4億 773万4千円(2.0%) ・地方譲与税、環境性能割交付金等
	地方交付税(※1)	1億3,009万8千円(0.7%)

※1 地方公共団体の収支不足を補うために国から交付されるお金

令和2年度の一般会計をはじめとする各事業会計の歳入歳出  
決算が、3年第三回武豊町議会定例会において承認されたので、  
決算の概要をお知らせします。

問合せ 役場総務課

特別会計 保険料や使用料等、特定の収入で実施する  
事業の運営に必要な経費を扱う財布

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	35億8,490万5千円	35億2,940万5千円
後期高齢者医療	5億8,079万7千円	5億7,892万1千円
介護保険事業	26億9,292万7千円	25億7,011万円

公営企業会計 地方公営企業法に基づき指定された事業で、  
独立採算制の経営方式をとっている

会計名	区分	歳入	歳出
水道事業会計	収益的収支	8億8,033万8千円	7億4,150万3千円
	資本的収支	4,420万4千円	3億5,257万8千円
下水道事業会計	収益的収支	10億7,908万5千円	9億7,874万5千円
	資本的収支	7億7,564万4千円	7億4,108万9千円

### ことばの説明

#### ■自主財源

町税や施設の使用料、住民票の発行手数料等、町が自主的に収入することができるお金。自主財源が多いほど安定した行政運営ができるとされています

#### ■依存財源

国や県からの補助金等一定の基準で交付されるもので、町が独自に収入額を決められないお金

#### ■財政調整基金

地方公共団体の貯金。積立や取崩しをしながら財源を調整して、計画的な財政運営を行っています

#### ■一般会計(一般的な行政運営に必要なお金を扱う財布)

令和2年度一般会計の決算額は、歳入が197億1,245万円、歳出が189億4,309万3千円となりました。差引額の7億6,935万7千円のうち、2億8,728万円は翌年度へ繰り越しをしましたので、残りの4億8,207万7千円が実質的な黒字額となりました。

#### ■歳入

歳入では、特別定額給付金給付事業費補助金(43億5,190万円)をはじめ、新型コロナウイルス関連の国庫支出金により、歳入全体に占める国庫支出金の割合が大幅に増加となりました。歳入総額は、前年度と比較して54億1,253万5千円(37.9%)の増加となりました。

#### ■歳出

歳出では、新型コロナウイルス感染拡大対策としての特別定額給付金給付事業やプレミアム付商品券交付事業、GIGAスクール構想実現のための小中学校タブレット購入費等により、前年度と比較して50億8,149万4千円(36.7%)の増加となりました。

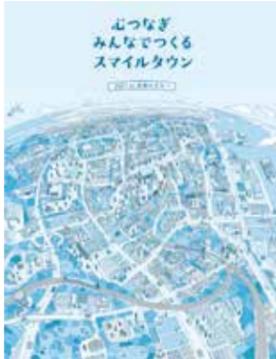
そのほか、令和2年度に実施した主な事業については11ページをご覧ください。

## 令和2年度の主な事業

第5次武豊町総合計画の目標ごとに紹介します。

### ともに創るまち

住民と町職員で構成するまちづくり会議や総合計画審議会を開催し、令和3年度から12年度を計画期間とする第6次武豊町総合計画を策定しました。  
(決算額 8,013千円)



### ふれあいのあるまち

4年度の供用開始を目指し、民間活力を導入したDBO方式による手法で屋内温水プール施設整備・管理運営事業の推進を図りました。  
(決算額 407,449千円)



### 活気に満ち誇りを持てるまち

新型コロナウイルス感染症の影響により、縮小した消費の拡大及び地域経済活性化を目的として、1世帯当たり1万3千円分の「武豊町緊急経済対策プレミアム付商品券」を1万円で購入しました。  
(決算額 242,160千円)



### 安全に暮らせるまち

65歳以上の高齢者が乗る自家用車を対象に、ペダル踏み間違い急発進抑止装置の購入費の一部を補助しました。  
(決算額 866千円)



### 子どもが健やかに育つまち

待機児童対策として、緑丘児童クラブ別棟新築工事を実施し、定員の拡大を図りました。  
(決算額 83,325千円)



### 自然環境と生活環境が調和したまち

令和3年4月から、ごみの量を減らすための「ごみ処理有料化」(指定袋の値上げ)を導入しました。その準備として、新しい指定袋の製造、案内チラシの作成・配布等を行いました。  
(決算額 11,937千円)



### いきいきと暮らせるまち

新型コロナウイルス感染拡大の中、サービス提供を継続している武豊町内の医療機関等に対して、事業継続応援金を交付しました。  
(決算額 16,800千円)

支出合計 285万円/年

食費(人件費)	43万8千円
日用品の購入(物件費)	41万3千円
家族の医療費(扶助費)	34万3千円
家や車の修理費(維持補修費)	1万9千円
家の増改築費(投資的経費)	24万2千円
子どもへの仕送り(他会計への繰出金)	17万1千円
借金の返済(公債費)	9万1千円
自治会費(補助費等)	101万9千円
株券購入費(出資金等)	9万6千円
貯金(積立金)	1万8千円
翌年に繰り越す額	
<b>15万円</b>	

一般会計の決算額を、  
1年間の家計(年収300万円)に  
例えてみました。



収入合計 300万円/年

給料(町税等自主財源)	139万1千円
親からの仕送り(国・県補助等)	132万6千円
貯金の取崩し(基金からの繰入金)	12万円
借金(町債)	16万3千円

## 財政の健全化判断比率と資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、令和2年度決算について下記のとおり指標を公表します。いずれの数値も各基準を大きく下回っており、健全な状態にあることがわかります。

健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	-	13.48
②連結実質赤字比率	-	18.48
③実質公債費比率	-0.9	25.0
④将来負担比率	-	350.0

自治体の財政破たんを未然に防ぐために、4つの指標が定められています。指標の数値が一定の基準に達すると、健全化に向けた計画策定が義務付けられたり、借金をするのにも厳しい制約がかかったりします。

- ①本町では一般会計の赤字の程度。他の会計へお金を繰り出す一般会計が赤字である場合、非常に厳しい財政状況であるといえます
  - ②すべての会計を合わせた赤字の程度
  - ③借金の返済やそれに準ずる経費の程度
  - ④一部事務組合も含めた借金の残高や、土地開発公社からの土地の買戻し等、これから先に見込まれる経費の程度
- ※「-」と表示されているのは、赤字額がないため比率が算定されていないことを意味します  
※早期健全化基準は「注意」、財政再生基準は「警告」程度です

⑤資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	- 20.0
下水道事業会計	- 20.0

⑤表に示す会計ごとの事業規模からみた資金不足の割合  
※「-」と表示されているのは、資金が不足していないため比率が算定されていないことを意味します